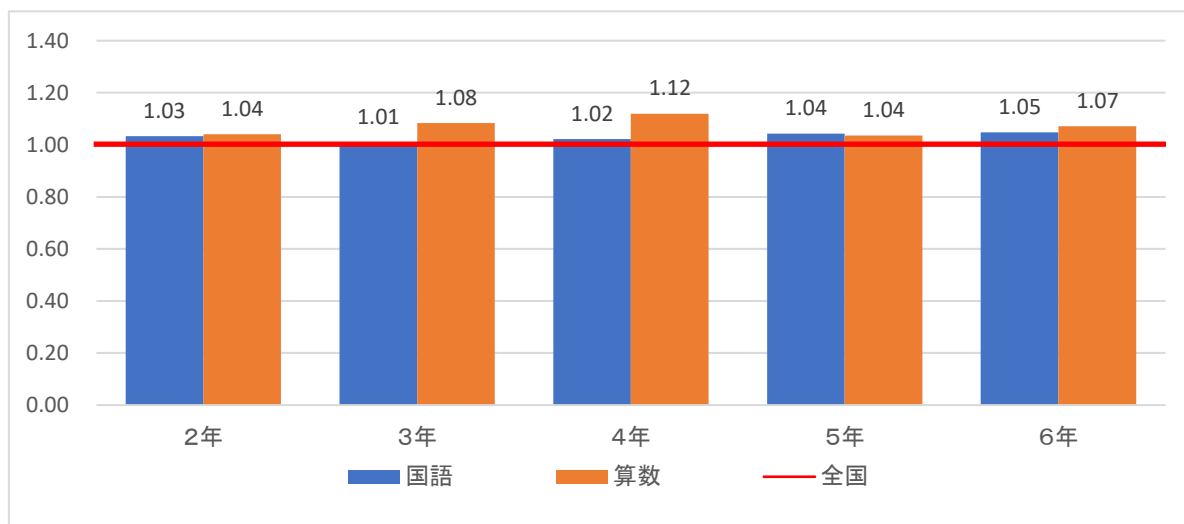


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第五中学校区 神田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「書くこと」領域については、全学年で全国値を上回る結果であった。引き続き、自分の考えを伝え合う活動を進めるなかで、相手の考えをしっかりと聴き、対話できるようにしていく。
	算数	全学年とも4領域、また「活用」問題において全国値を上回った。今後も図や式を用いながら「目的や意図に応じて説明する力をつける」授業を行っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」設問が、全国値を上回った。引き続き、「対話の素地を養う言語活動」に取り組んでいく。
	算数	「式や数・言葉を用いて記述する」複数の設問が全国値を上回った。今後も図と式と結びつけ、言葉で理由付けながら説明することを大切にした学習活動を行っていく。
	質問紙	「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」児童の割合が全国値を上回った。今後も「考える力」の育成を推進していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的に開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会、授業公開を開催し、同じ方向性のもと、取組を推進している。

【 学 校 】

研究テーマである「互いの意図に応じて話を聴き合い、自分の意見を伝え合う力」を育成するために、話し手だけでなく聞き手の主体的な態度を育てるとともに、ディベート教育を進めることで「考える力」の育成を図っていく。